



長崎南山小学校  
学校生活だより  
令和3年2月号  
担当[山田]  
NO.97

## 「あいさつ」 身についていますか？

1月の終わりに実施した学校評価のアンケートには、保護者の皆様にも協力をしていただきました。ありがとうございました。

今回は、「あいさつ」について考えてみたいと思います。

児童用のアンケート、「先生や友達に、進んであいさつをしていますか？」の問い合わせに対して、「A. よくあてはまる」と回答した児童は、この3年間では、49%→52%→56%と伸びていることが分かりました。反対に、「D. あてはまらない」と回答した児童は、5%→2%→0という結果でした。

これは、児童の意識としての現ればかりではありません。学校生活の中で少しずつ挨拶がよくなっているという手応えは、教師の側も感じています。交通安全のために街頭指導に立っていただいている保護者の皆様からも、「子どもたちが挨拶をしてくれて気持ちがよかつた」「元気な挨拶の声が聞かれた」という声が多く寄せられています。

ところが、「毎日元気よくあいさつをする子は、いつも決まった子どもたちである」とか、「楽しそうにおしゃべりをしている集団の側を通りながら挨拶をしても、一人も見向いてくれなかった」「誰かが挨拶をすると続いて挨拶をするが、自分から進んではしない」などという問題も、まだ残っています。街頭指導の保護者からも、「挨拶の声が小さく、元気がないのが気になる」「こちらから挨拶をしても返事が返ってこなくて残念だった」などの声も、まだまだ聞かれます。挨拶の習慣が定着している学校とはいえないようです。確かに56%は事実のようですが、それでは「あいさつ上手の学校」とはいえないのが実際のところです。

昨年度までカトリック西町教会と南山小学校で働いておられたディエム神父様が、宗教の集いで次のように話してくださったことがありました。

わたしが小さい頃から家族は、ロザリオの祈りをとても大切にし、毎日唱えていました。ロザリオの祈りは、いつでも、そして誰にでもできる祈りです。散歩しながらも唱えることができるし、車の中でも唱えることができます。

毎日唱えていたロザリオの祈りですが、急な用事が重なってどうしても一環（アヴェ・マリアの祈り10回×5）を唱えることができない日は、わたしは、喜びの神秘の第2の黙想の一連のみ（アヴェ・マリアの祈り10回）をいつも唱えるようにしていました。大天使ガブリエルのお告げを受けてイエス様を胎内に宿したマリア様が親戚のエリサベトを訪問する場面を黙想しながら唱えていたのです。聖書には、マリア様がエリサベトを訪問して挨拶をすると、エリサベトの胎内の子が喜び踊ったと記されています。

「イエス様を自分の胸にお迎えして、人に挨拶をすると、そこにはいつも喜びがあるのだな。わたしも人に喜びを与える挨拶ができるようになりたい。」

ゆっくりと時間のとれない忙しい時は、そんな思いをもって、わたしは、いつも喜びの神秘の第2の黙想を唱えていました。

神様を信じている人の挨拶は、人に喜びを与える挨拶であり、人を笑顔にする挨拶です。

「○○先生、おはようございます。」

「○○くん、おはよう。」

などと、毎朝、学校中に気持ちのよい挨拶の声が響き渡るような、そんな学校を目指していくたいと思います。

## 携帯電話(スマホ)の取り扱いについて

ある研究所の調査によると、2020年の子どもの携帯電話・スマホの所有率は、

小学生低学年	18%
小学生中学年	35%
小学生高学年	46%
中学生	70%

だったそうです。また、子どもの利用頻度は年々増し、利用目的も多様化してきているという報告がなされています。

インターネット環境を含め、児童生徒を取り巻く生活環境が大きく変容する中、携帯電話・スマホの過度の利用による健康被害の懸念やSNS等を介して犯罪等に巻き込まれる事件も多く報道されるようになってきています。携帯電話・スマホには、利便性とともに、危険性や問題点があるのです。

先日、県教育委員会から「携帯電話・スマホの取り扱いについて」のメールが届きましたので、お知らせします。

- 携帯電話を子どもに持たせるかどうかについては、保護者の責任で判断してください。
- 携帯電話は、学校における教育活動に直接必要のない物であることから、長崎県では、学校への持ち込みは「原則禁止」としています。(本校も同じ考えです)
- 携帯電話を何に使うのか、親子で目的をはっきりさせたうえで、一方的な押し付けにならないよう、子どもとよく話し合いながらルールを決めてください。また、ルールを作成したら、印刷して、子どもも保護者も目にする場所に張るなど、いつも意識できるような工夫をしてください。

## 家庭のルール(例)

- ① 危険なサイトにアクセスしないようフィルタリングを設定する。
- ② 使用するとき以外は親に預ける。
- ③ 携帯電話の保管、充電場所は家族のいる部屋にする。
- ④ 自分の電話番号やメールアドレスを知らない人に教えない。
- ⑤ 勉強中、食事中、入浴中などは携帯電話を使用しない。
- ⑥ 夜9時以降は携帯電話を使用しない。
- ⑦ 休日の使用時間は、1時間以内にする。
- ⑧ 電車やバス、歩行中や自転車に乗っているとき等、携帯電話を使用しない。
- ⑨ 悪口など、相手を傷つけるような使い方はしない。
- ⑩ インターネット上に、自分や友達の名前、住所、画像や動画等、個人に関する情報を公開しない。
- ⑪ チーンメールや知らない人からのメールは無視し、家族や先生に相談する。
- ⑫ 不安なことや心配なこと、困ったがあれば、すぐに家族や先生に相談する。
- ⑬ 1週間に1度は携帯電話の使用状況を保護者に見せる。
- ⑭ 決められた金額以上は使わない。
- ⑮ 知らないサイトに書き込んだり、知らない人に会ったりしない。

以上のお知らせを参考にしながら、お子様の健やかな成長のうえに、携帯電話・スマホが本当に必要なかどうか、実際に持たせている場合は問題がないかどうか、十分に話し合いをしていただきたいと思います。

## ♪松原湖畔にて

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>1 松原湖畔にて 朝<br/>イエス様と出会いました<br/>愛にみちたまなざしで<br/>シャロームといわれました<br/>※イエス様を知った<br/>喜びは忘れられない<br/>イエス様のことを<br/>歌わずにいられない</p> | <p>2 松原湖畔にて 午後<br/>イエス様と歩きました<br/>松の木陰に休んで<br/>声合せ歌いました<br/>※(くりかえし)</p> | <p>3 松原湖畔にて 夜<br/>イエス様と語りました<br/>静かなやさしい声で<br/>友と呼んでくれました<br/>※(くりかえし)</p> |
|--|--|--|

# ♣♣ 教室紹介 ♣♣

## 2年1組 担任 溝上桃子先生

元気いっぱいの賑やかなクラスです。シーンと静まりかえるのは、先生の本の読み聞かせの時。「この本、読んで！」「あの本がいい！」など、リクエストの声が飛び交うほど読み聞かせが大好きで、いつも楽しそうにお話を聞いています。

溝上先生は、苦手なことも始めから諦めるのではなく，“まずはやってみる”，“挑戦してみる”ことを大切にして欲しいと願いながら1年間指導してきました。この先生の願いは、学級目標「チャレンジ」にも込められています。

最初は少し難しいかなと思われていた学習発表会の英語劇にもみんなで挑戦し、見事に作り上げることができました。みんなで協力しながら堂々と発表することのできた本番の英語劇は、とても立派なものでした。

今は、生活科の「自分はっけん」の学習を頑張っています。小さかった頃の写真を楽しそうに見せ合ったり、おうちの人に入タビューアーしたことをエピソードシートにまとめたりしながら、「自分はっけんブック」を作っています。完成した「自分はっけんブック」をおうちの人見てもらうのを楽しみにしている子どもたちです。



# ♣♣ 教室紹介 ♣♣

## 2年2組 担任 野川知彦先生

男子も女子も分け隔てなく、みんながとても仲のよいクラスです。困っている友達にやさしく声をかけたり、手をかしてあげたりする思いやりのある行動があちらでもこちらでもよくみられます。

自分のことだけでなく、周りの友達のことも考えて行動し、毎日やさしい心が育っていくクラスづくりを目指してきた野川先生の願いが、この一年間で目に見える形となって実ってきました。学級目標「スマイルVV」そのものの、笑顔が溢れている2年2組です。

活動意欲も旺盛でクラスの係活動にも積極的に取り組んできました。自分の係ではなくても、進んで手伝ったり、力を合わせて取り組んだりしている姿にクラスの一致が感じられています。みんな遊びも大好きで、今は、いろいろな形の鬼ごっこを仲良く楽しんでいます。

すばらしいことのもう一つは、「聞く力」。生活の指導中でも、授業中でも、割り込みすることなく、とにかく先生の話に静かに耳を傾ける子どもたちです。「聞く力」のすばらしさが、子どもたちのすべての成長の基になっていることは確かなようです。

